仕事もプライベートも安心して楽しめる

先輩OTより

オン・オフの切り替えを大切に新しいことに挑戦できる環境！

OT歴4年目
小川 彩 おがわ あや

ワークライフバランスのとれた充実した生活を実現しやすい就業体系だと思います。休日は自分の希望が通りやすく、また有給休暇も積極的に使うことができます。それを活用して、最近は京都、その前には沖縄にも旅行に出かけてきました。新しい趣味として、スポーツジム通いもこの春から開始。仕事面でも新しい分野に関心が生まれてきていて、ますますいろんなことを実現していけそうな気がしています。

安心の福利厚生

大規模グループだから
生活面のサポートも万全です

- **職員食堂280円、住宅手当最大3万円**
  遠方からの転居や一人暮らしも安心
- **徳洲会関連病院で医療費負担免除あり**
  本人はもちろん、家族の医療費も免除
- **オフも充実！週働37.5H、17:00終業**
  産休・育休取得者や時短勤務者も多数

新卒も安心の研修体制

各施設が特色のある新人教育プログラムを完備。社会人としての基本事項から、臨床で必要な知識・技術まで、無理なく身に付けられます。相談できる先輩が決まっていることで、迷ったときや困ったときに相談しやすい環境です。学習目標を毎月明確にした上で業務の習熟度を確認できるよう、チェックシート等を活用しており、効果的なフィードバックを得られます。日々の臨床をもっと充実したものにできるよう、施設内外の研修会への参加もバックアップします。

丁寧な教育システムと充実した新人勉強会の開催

1年目
各施設の特色を生かした教育システム（プリセプターシップ制度など）を採用。また、施設ごとの新人教育プログラムにのっとった勉強会（基礎領域、専門領域、技術）を実施。現場で必要な事、今後のキャリアで必要な事が一括して学べます。

グループメリットを生かした研修制度

各施設間で交換研修を行っています。医療と介護領域の垣根を越えて、個々人のキャリアデザインをサポート。急性期総合病院、回復期病棟、介護老人保健施設、通所・訪問リハ領域すべてを経験可能です。

地域連携による研修会

鎌倉リハビリテーション連絡会と題し、鎌倉地域のさまざまな医療・介護機関との研究会を主宰。年間勉強会や親睦会を企画・開催しています。また、県規模での連携病院を交えたセミナーも年間多数開催。包括的なスキルアップ、交流が可能です。

徳洲会グループ施設との交流・研修

神奈川県や関東圏にある徳洲会グループ病院と合同の研修会・交流会も開催しており、スキルアップの機会になっています。

Q 入職後の研修体制について教えてください。

A. 私が入職した際にはなかったのですが、現在はプリセプター制度があります。2～3年目の職員が指導役となって、マンツーマンで教えます。ですが、そういった制度がないときから、相談しやすい、聞きやすい環境でした。臨床の現場はバタバタしていることは確かですが、その中でも「何でも聞いて！」と、先輩から声をかけてくれました。

また、新卒で入職したリハ職員は、研修としてグループ内の多様な施設での臨床を経験でき、その後、適性や希望を踏まえて配置されます。このように、入職後初めの段階から幅広い視点を養いながら、仕事を覚えていけるプロセスになっています。各種の集合研修も充実しており、わからないことをすぐに解消できますよ。

Q 仕事の中で、どのような時にやりがいを感じますか？

A. やはり、患者さんやご家族から感謝の言葉をもらったときです。また、リハビリ後に良い変化が出たときにも、やりがいを感じますね。特に印象に残っているのは、入職2年目に出会った、50代の脳梗塞の患者さんです。リハビリの後で「さっきよりここが動くようになった」など、具体的に効果をフィードバックしてくれました。そのように伝えてもらったことで、「自分のやっていることはちゃんと人の役に立っているんだ」とわかり、とてもうれしかったです。

Q 職場の雰囲気を教えてください。

A. 職種や先輩・後輩の間に、本当に垣根がなく、いつも明るい会話が飛び交っています。月並みな表現ですが、とても居心地のよい雰囲気です。派閥があったり、先輩に声をかけづらかったりということは、一度も聞いたことがないです（笑）。看護師など他職種の職員とも、病棟単位で飲み会を開くくらい、強い連帯感があります。特に、同期入職の他職種とは仲が良いですね。

Q 最後に、学生さんへのアドバイスをお願いします。

A. 私は職場を選ぶ際、「この人と一緒に働きたいか？」という視点を大事にしました。見学の際には、そう思える先輩がいるかどうかも、意識すると良いと思いますよ。また、選考される立場としても、病院や施設から、「この学生と一緒に働きたいか？」という視点で見られています。ぜひ、「一緒に働くと楽しそう」と思われるような人材を目指してください。

自分を幅広く試せる！

法人内にさまざまな施設があるので、転職しなくても、幅広い領域でセラピストとしての自分を試せます。職場で築いた人間関係を大切にしながら、さまざまな経験を積み、実力を高めていける環境です。

グループメリットを生かし、幅広く学べる

職場の先輩に聞いてみた！
PT

「この人と一緒に働きたい」そんな先輩がいる職場です！

●かんだ たかおみ
神田高臣
PT歴4年目

出身校　群馬パース大学

担当患者の主な症例　腎不全、心不全、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病、下肢切断、感染症等

以前は肉好きだったが、今は魚好き！

Q 初めに、当院に入職した理由を教えてください。

A. まずは、いろいろなことを経験したいと考え、最初の就職先には総合病院を考えていました。当院は急性期病院であることに加え、老健、デイケア、訪問などのグループ施設もあり、幅広い経験を通じて、地域生活全体とつながる働き方ができると感じました。また、見学時に対応してくれた室長との出会いも大きかったですね。室長の人柄や姿勢を知り、「こういう人と一緒に働きたい」と感じたことも、大きな決め手でした。

Q 入職前には、不安はありましたか？

A. 自分が実際に患者さんを担当することを想像すると、やはり不安がありました。しかし当院では、入職後にいきなり一人で担当を持つことはありません。初めは先輩と一緒に臨床を行っていくので、不安はなくなりました。ただ、患者さんが相手の仕事なので、わからないことを先送りにはできません。先輩に相談することはもちろんですが、何でも自分から調べ、知識を身につけるようにしてきました。

Q 実際に職場で仕事を始めてみて、どのようなことを感じましたか？

A. 「患者さんと接することは楽しい！」ということです。学生時代の勉強は、その学習内容が現実のどんなシーンに当てはまるのか、わかっていないことが多かったんですよね。でも実際に働いてみると、「ああ、あの時勉強したのはこのことなんだ」と思い当たることもしばしば。学生時代は大変でしたが、勉強しておいて良かったなと感じています。学ぶ姿勢という意味では、今の方が主体的に勉強していると思います（笑）。